

# 出雲・隠岐海域漁場保全調査

(漁場環境保全対策推進事業)

山根恭道

## 1. 研究目的

水産生物にとって良好な漁場環境の維持を図るため、八束郡鹿島町および隠岐郡西ノ島町沿岸域において水質、生物のモニタリング調査を実施する。なお、調査の詳細は「平成12年度漁場保全対策推進事業調査報告書(海面)」に報告した。

## 2. 研究方法

調査方法の概要は下表の通りである。

調査項目		調査地点		調査回数	調査内容
水質調査		鹿島町 西ノ島町	5点 7点	隔月	水温、塩分、DO(0、2.5、5、10、15、20、30、40mおよび底から2m)、水色、透明度。
生物モニタリング調査	藻場調査	鹿島町 西ノ島町	12点 10点	6、8月	藻場面積および、生育密度を5段階で評価
	底生生物調査	鹿島町 西ノ島町	5点 6点		底泥の温度、粒度組成、COD、T-S、底生生物(個体数、湿重量、種別または類別分類)。

## 3. 研究結果

### (1) 水質調査

透明度は鹿島町では10m以上~19m、西ノ島町では7~20m、水温は鹿島町では13.0~26.9、西ノ島町では12.0~26.0mであった。また、塩分は鹿島町では18.66~34.47psu、西ノ島町では32.94~34.60psu、DOは鹿島町では4.61~8.00mg/l、西ノ島町では4.16~10.55mg/lであった。

### (2) 生物モニタリング調査

鹿島町では多年生大型褐藻類のクロメ場12.5ha(水深1.5~15m)を観察し、その結果6月が2~5点、8月が2~5点、平均がそれぞれ3.5点と3.2点であった。西ノ島町ではガラモ場0.3ha(水深1~9m)を観察し、6月が2~5点、8月が1~5点、平均がそれぞれ3.2点、2.7点であった。

底質の結果は鹿島町で、CODの値は6月が1.76~4.82mg/g乾泥、8月が2.78~3.45mg/g乾泥であり、TSは両月ともNDであった。西ノ島町では、CODの値は6月が2.17~9.72mg/g乾泥、8月が5.20~8.12mg/g乾泥であり、TSの値は8月の定点3、4、5で0.01mg/g乾泥以外は全てNDであった。

鹿島町ではSM採泥器1回当たりで採取された底生動物の個体数は5地点の合計で6月が229個体、8月が90個体で、1g未満のものの湿重量は6月が3.3g、8月が1.2gであった。

西ノ島町では底生動物の個体数は6地点の合計で6月が312個体、8月が228個体であった。1g未満のものの湿重量は6月が5.6g、8月が3.8gであった。

類別の構成については鹿島・隠岐ともに多毛類が主体で、その出現割合は全測点で59~96%を占めた。多毛類以外ではホウキムシとクモヒトデが高い出現割合を示した。